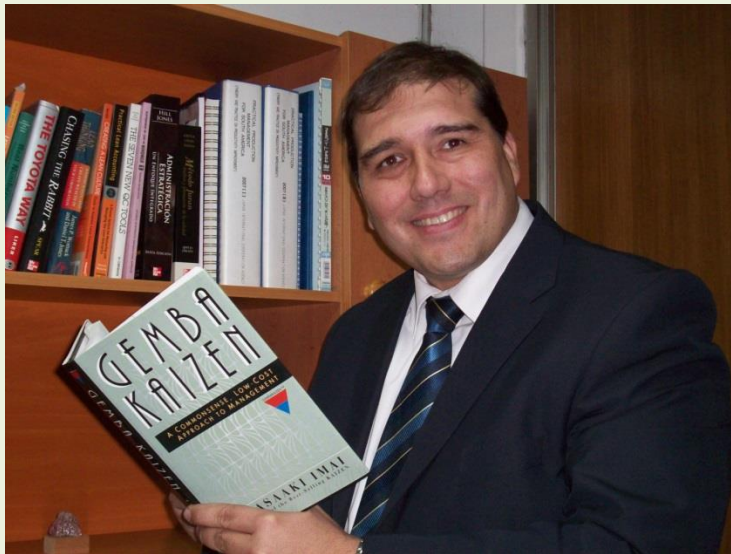


帰国研修員レポート

【帰国研修員の活動状況】



現地（チリ）の活動状況を報告して頂いたパブロさん

1) 報告者 : コースリーダー 宮本 正

2) 現地レポート：帰国研修員（チリ）

Mr. Pablo Antonio Parada Hernandez

2014年11月20日

（公財）北九州国際技術協力協会 研修部

～JICA/KITAの技術研修を終了後、母国(チリ)で活躍されています帰国研修員(パブロさん)の活動状況を紹介します～

今回、ご紹介します帰国研修員便りは、研修コース「南米地域 生産性向上実践技術」の初年度（第1回）に参加されたパブロさんの帰国後の活動状況です。
技術研修コースを担当された宮本コースリーダーよりパブロさんの活動につきましてご紹介して頂きました。

1. コースリーダーからメッセージ



宮本コースリーダー



研修講義に参加された研修員と宮本コースリーダー（平成19年撮影）

今回報告しますパブロさんは（後列右から二人目）、平成19年にスタートしました研修コース：南米地域「生産性向上実践技術」の最初の研修員として参加されました。前列の中央は、当時参加した研修員皆さんのお母さん役だったナンシーさん（アルゼンチンから参加）です。織機メカ開発部長で、帰国後はキューバへも指導員として活躍されました。前列左端は飛行機製造会エンジニアのフェルナンドさん。当時の研修訪問先であった「日産自動車」での思い出ですが、研修中の昼休み時間に日産チームとサッカーの試合を行いました。日産の皆さんは全員サッカー服の正装でしたが、彼らは作業着でプレーしました。彼ら個々の技が正確で研修員チームが圧倒的な勝利をあげ、日本勢は彼らのダッシュに蹴散らされました。研修員皆さんは、個性的で勉強熱心なメンバーでした。研修放課後の遊びも大胆で焼き鳥と熱燗が大好きでした。今も連絡を取り合う仲の良い印象に残るメンバーです。

【今回レポートした報告帰国研修員】

名前 (通称)	写真	氏名	国名	JICA受入れ研修期間
パブロ		Mr. Pablo Antonio Parada Hernandez	チリ	H19/10/8～H20/2/2

2. パブロさんが参加された研修コース名とその実績

研修コース名

「南米地域 生産性向上実践技術」

当研修コースの過去の研修実績

パブロさんは、H19年度の実施された研修コース「南米地域 生産性向上実践技術」の初年度に参加しました。

JICA研修	研修員数	参加国数
H19年度	7名	4ヶ国
H20年度	6名	2ヶ国
H21年度	8名	4ヶ国
H22年度	8名	4ヶ国
H23年度	8名	5ヶ国
H24年度	7名	4ヶ国



平成19年(2008年)、河野前K I T A理事長より修了書が渡されました。

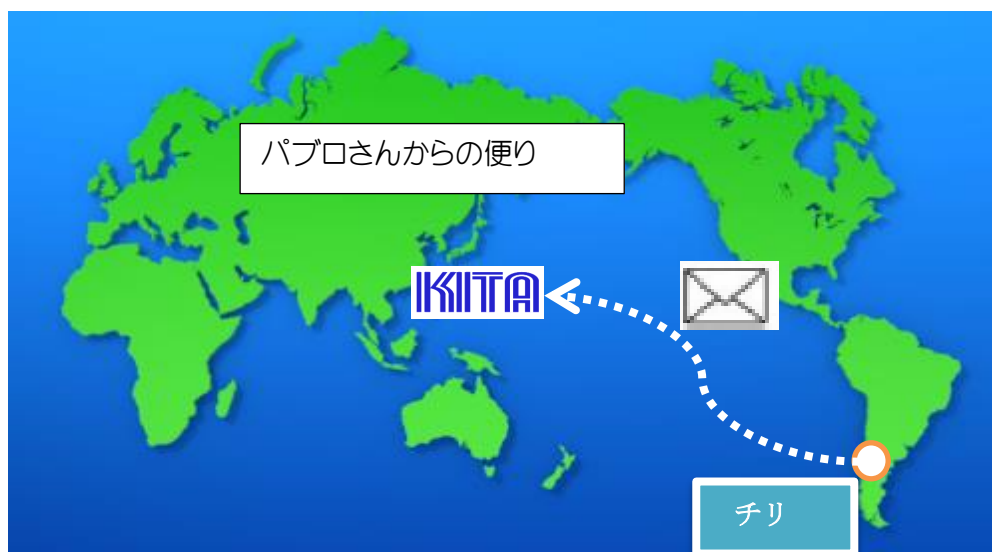


閉講式でとパブロさん(左)と宮本CL(右)の記念写真。



閉講式で研修員を代表してスピーチしたパブロさん。

3. 帰国研修員（パブロさん）の活動状況



パブロさんの活動状況

【概要】

研修で来日した当時は37歳で温厚なラガーマンでした。講義中にセミナールームで騒いでいる研修員を一瞥すると皆が静かになると言った大人（タイジン）です。研修が終了して4ヵ月後の帰国する際に「自分は少々生意気で頭が高かったことが、この研修で気がついた」と反省していました。まだ先が永い人生だから、ここで気がついたことは自分の人生にとっても、自分の工場経営にとっても、大きな収穫だったと言い残して帰国しました。現在、母国チリでカイゼン、5S活動等で活躍しています。

活動内容の詳細は、右に紹介しています。



クリックしてレポートを
ご一読下さい。
(概要を和訳しています)

「アシメット」の紹介

【概要】

「アシメット」はチリの金属工業会の協会名です。パブロさんはアシメット技術部会のメンバーで、傘下企業の生産性向上活動を推進しています。鉱産物が多く採れて精錬・加工業が発達しています。銅は輸出総額の4割と貢献度も大きく一大勢力で、政府と密接な関係です。

アシメットについて右に紹介しています。



クリックしてレポートを
ご一読下さい
(概要を和訳しています)

コースリーダーの皆さんは、帰国研修員から様々な便りが寄せられますが、その都度彼らとコンタクトを取り合いアドバイスをを行っています。 当メールも帰国研修員とコースリーダーとの繋がりを大切にしたいコマですのでご紹介します。

御嶽山の爆発事故でメール交信（パブロさんと宮本CL）

①パブロさんから問い合わせメール September 29, 2014

Dear Miyamoto san.
Hope you are OK ? I heard about Ontake volcano disaster,
hope every is fine with you and friends.
Best Regards
Pablo

宮本さん、
御嶽山の爆発事故を聞きましたが、皆さんは大丈夫ですか？
パブロ

②宮本CLから返信メール October 02, 2014

Morning! Mr. Pablo,
Thank you for your kindly e-mail. We are well!
I was also surprised at the eruption of Mt. Ontake.
It is in the position like middle of Japan, at the northwest from Mt. Fuji.
We can see that mountain from a window of passenger plane.
I passed closely that mountain in order to buy an apple at November every year.
It is an independent peak over 3000 m. Snow should lie in winter, its so beautiful.



おはよう、パブロさん
親切なメール有難う。我々は大丈夫です。
私も御嶽山の爆発は驚いています。
御嶽山は富士山から北西方向で日本の中央に位置します。
飛行機の窓から御嶽山を見ることができます。
私は毎年11月にはリンゴを購入するため御嶽山の近くまで行きます。
御嶽山は、3000メートル級で、冬の雪景色は大変美しい。

This eruption was a phreatic explosion. Lava has not come out from inside of mountain.
Japan is a season when the autumnal leaves of autumn are beautiful.



この爆発は水蒸気爆発でした。溶岩は、山の内部からは噴出していませんでした。
日本の秋は、紅葉が美しいシーズンです。

There is a ropeway to the middle position of a mountain.
Therefore, many people can climb a mountain.
At the time of an eruption, nearly 250 persons were in the summit of the mountain.
A lot of volcanic rocks scattered. And many volcanic ashes also got down. At present, 47 persons die. The missing person has not decided. It is because many people use many routes. The cause of its death is occurred from volcanic rocks. The volcanic rocks of the size like the ball of baseball flew at 300 km/h. There was also a thing 2 m in diameter.

御嶽山は中腹までロープウェイがあります。
それで沢山の人達が山登りします。
爆発の時は、約 250 人が登山者が山頂にいました。多くの火山岩が飛散し多量の火山灰が降りました。現時点で 47 名の人達が亡くなりました。登山者はいろいろな登山ルートを使用するため行方不明者の数が不明です。
死亡原因は主に火山岩の落下です。火山岩は野球のボールサイズの大きさに 300km/h のスピードでした。直径 2m の大きさの岩もありました。



There was the accident in which it was the same at 1979 even in Mt. Aso which you climbed. At that time, 3 persons died by flying volcanic rocks.

あなたも登山したことがある阿蘇山で 1979 年に同じような事故がありました。その時は 3 人が飛散した火山岩で亡くなりました。

③パブロさんから返信メール October 04, 2014

I'm very glad you are well! Thank you for pictures.
I'm working on activity report, prior October 15 will be ready.
Best Regards
Pablo

宮本さんは大丈夫のようで安心しました。
御嶽山の写真を有難う。
ただいま、活動レポートを作成中です。
10月15日には準備完了予定です。
パブロ



日常的なメール発信（ナンシーさんからの便り）

Hi Miyamoto san !!!!

So nice to hear from you !! How are you ??

As I wrote to you on the souvenir, I always remember you and Your teachings....you were so kind to us to teach us all your life work experience.

The group...everybody...keeps in contact through mail, so Pablo And Fernando told us about your visit to Chile and sent some pictures of you in Valparaiso. I hope you can come to Argentina some time, it will be really nice to welcome you here.

How I miss Kokura...and the warm sake !! jajaja. We had a really good time in the tavern Musashi...there are some Japanese restaurants here but it is not the same. I'm sending you some pictures from that day, just to remember good times...

Please send my greetings to Mr. Kawasaki.
Hope we stay in touch, warm regards from the south !!
Nancy

宮本さん、お元気ですか？

お土産を頂いた時にご連絡したように私はいつも貴方の親切と貴方の人生経験における教えを思い出します。

私たち研修グループはメールで近況を交信しています。パブロとフェルナンドから

宮本さんがチリを訪問するとお聞きしました。バルパライソでの貴方の写真を送ってくれました。時にはアルゼンチンにも来てくれませんか。歓迎しますよ。

小倉が懐かしいです！温かい日本酒が美味しかったな！居酒屋「武蔵」では、楽しい時間を過ごしました。アルゼンチン

にも日本レストランはありますが、この日本酒は本来の酒ではありません・・・。

日本滞在中の思い出写真を送ります。

河崎さんにも宜しくお伝えください。

今後とも交信を続けましょう。

ナンシー



小倉の居酒屋「武蔵」にて



日本酒の熱度が好評でした

～帰国研修員：パブロさんのレポート（チリでの活動報告）～

パブロさんの活動状況

アシメットでの現在の肩書

パブロ・パラダ氏は現在アシメットで生産性サークルの会長を務めています。

1) JICA研修後の最初の行動

技術委員会と外部団体双方に参加し、関連会社の生産性向上のために日本式生産モデルやツールを推進する必要性、また、ワークショップや講義と日本への技術派遣の必要性を委員会の議題に取り入れました。

2) アシメットにおける現在の活動とその役割

工業生産における日本式生産方式とツールの普及活動に関する調整役を担っています。



3) パラダ氏がこれまでに実施した活動内容

- 5 Sワークショップ（4回実施）
- 5 S講演会（2回実施）
- カイゼン、工業生産性同好会
- チリ工業専門学校(LICHAN/ 16 - 18歳の若者対象の技術学校)での5 S展示会（3回実施）
- 品質管理の7つ道具に関する1連のワークショップ（1回実施）

問題解決のためのワークショップ、デミングサイクル（品質管理のP D C A）とQ C 7つ道具

ツール1：チェックシート

ツール2：パレート図（稀に不可欠であるが、多くは不要）

ツール3：特性要因（イシカワ）図

ツール4：ヒストグラム

ツール5：層別（層状したグラフ）

ツール6：散布図（2変数間）

ツール7：グラフと管理図（シューハート管理図）

- T P M（「全員参加の生産保全」）：工業生産性同好会（1回実施）
- 生産に関わる7つのムダ（1回実施）
- コンセプション市（サンチアゴから南500km）の5S講演会でプレゼンテーション（2回実施）
- コンセプション市の太平洋共同行動計画に基づき、アシメット・マネジメントのコンサルティング部門の講師として製鉄会社内の5S促進研修を実施（10回実施）



4) 3つの事例

日本式工場管理モデルの普及を例に挙げます。

- ・「生産性向上の理論と実践」研修で学んだ科目について自身の職場で実践したことをかつての研修員と共同発表。
- ・企業を訪問し、日本式工場管理方式を学ぶために、日本への技術派遣を企画・推進。
- ・生産向上技術を実施した生産フロアの全工程メンバーから成る改善チームが得た成果と経験を事業者団体講堂で発表。



5 S 講習用に乱雑に置いた机と椅子



工業専門学校での講義

5) 過去の活動の確認

中間管理層を、効率的な工場管理ツールを活用促進させることや、単なる技術指導から、より高度で広範な工場技術者としての指導者に育成すること。

6) 今後の活動拡大に必要なもの

大企業と連携する中小企業の実務者のために、生産性向上ツールを適用する際の知識と経験を共有でき、かつ、国民のため産業が発展するような国であるという夢を存続させられる提携先を持つことです。

7) 活動水準を上げるための必須項目

- ・ 大学レベル、または技術研修センターや政府機関において、金属機械産業における生産性向上ツールの実施について発信すること。

リンク資料①（パブロさん）

- 中小企業および大企業の生産性向上ツールに関する学識者や実践者と、大学、通信講座やオンライン講義を（オンラインセミナーなどを通じて）通信回線で結びつけること。
- 生産性向上ツールの使用に関する専門能力開発のための多様な短期コースを企画すること。
- インターンシップ：生産性向上技術の実践に関する、短期的な国際交流。
- カイゼンを題材にして異なるテーマで視聴覚研修教材を作成すること。



以上

クリックして下さい。
元の画面に戻ります。

アシメットの説明



1. アシメットについて

アシメットは、1938 年に設立された冶金・金属機械産業協会であり、会員企業に役立つような集中管理を進展させ、広く国の行政機関や世論に対して不変的かつ積極的に金属産業部門の利益を代弁し、全会員企業に対する効率的かつ専門的なサービスの提供、および、当該部門内の産業技術と環境面の改善に対して、直接かつ個別に対話・支援することを特徴としています。

アシメットは、企業や従業員の成長に常に配慮し、この目標を達成するために種々の活動を行っています。

■チリ国の概況

南北4,600 km／幅200 kmの国土。銅産出量は世界の30％で輸出の40％を占める。
一人当たりGDPは南米のトップグループ。F-16戦闘機の生産。高炉を持つ製鉄所がある。
金属部品類を南米諸国に供給。

2. 使命

チリにおける冶金・金属機械産業の開発促進とは、関連会社の価値の構築を促進・具現化し、国内外の公共・民間団体に対して業界を代表して持続可能な発展を達成することです。

協会の活動は、金属産業の様々な分野の開発や改善に関する最新情報を伝達し、それによって産業の様々な分野における発展や改良の最新情報を発信し、活発な情報交換を実現する業界内のユニオンネットワーク事業を維持していくことです。アシメットは、公正な商慣行の順守を推進し、社会的な責任を果たします。

協会は、チリの冶金・金属機械産業が世界レベルの競争力を持続し、市場のニーズを完全に満たしてゆくべく、最高基準の品質とその卓越性を永久に維持していくことを目標にしています。

3. 設立と会員

アシメットは、多種多様な製品を提供する冶金・金属機械とその関連サービスを行う様々な規模の金属産業の会社を代表して1938年10月21日に設立されました。

冶金・金属機械産業部門は、チリ国内総生産の2.1%に相当し、約18万人の労働者を抱えています。この協会の会員企業は、現在240社です。

4. 展開したカイゼン手法の活動

アシメットの役員であり、生産性サークル会長のパブロ・パラダ氏は、アシメット会員企業のために様々な活動を展開しており、在職期間中に、技術講演の開催、企業PRおよびカイゼン、TPM、5Sなどのツールの利用を推進しました。

同協会はJICAからの有益な協力を受けており、ここ数年でシニアボランティア9名がアシメット関連部門の約50社に派遣され、企業の生産工程に大きな改善をもたらしました。

5. アシメットの関する写真

生産性サークルメンバー



クリックして下さい。
元の画面に戻ります。